

がつ かてい きょういく げっかんもくひょう
8月の家庭教育月間目標

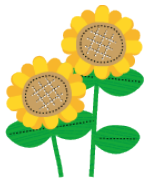
じぶんのおてつだいをまいにちつづけよう！

子どもは、いろいろな体験をすることで学び、成長していきます。お手伝いも体験の一つです。子どもは、家庭でお手伝いをすることで、工夫することや、自分の役割を果たすことの大切さを学びます。また、役に立つ、周りから感謝されるという体験を積み重ねることで、自己有用感も育んでいきます。

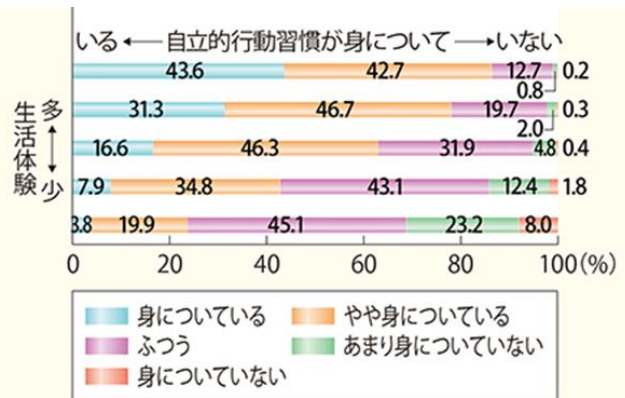
家庭でできるお手伝いを親子で考え、毎日お手伝いをする習慣を付けていきましょう。

生活体験を多く行った子どもほど自立的行動習慣

が身に付いている傾向が見られます。



(出典)『令和3年版 子供・若者白書』内閣府



子どもがお手伝いをする時、まずは大人がやってみて見本をみせましょう。お手伝いがうまくできな

くても、叱らず、うまくできるヒントを与えてください。

そして、子どもがお手伝いをした時は、「ありがとう」「助かったよ」と感謝の気持ちを伝えてください。

お手伝いを通して、子どもは自己有用感とともに、生きる力を身に付けていきます。



毎月第3日曜日は「家庭教育・家庭の日
 (いきいきサンデー)」です

奈良県立教育研究所
 (令和3年8月発行)



家庭教育 Web ページ

